

令和3年度 第2回 特別養護老人ホームささえ
運営推進会議

日時 令和3年7月28日(水) 14:00~15:00

場所 特別養護老人ホームささえ さくらユニット
(議題・報告内容)

1. 行事について(別紙ささえ便り参照)

6/2 入居者コロナワクチン接種2回目実施

6~7月 職員コロナワクチン接種実施

6月 バラの鑑賞会

2. 入居者さんの状況(7/26 現在)

現在 28名(女性 23名 男性 5名)

平均介護度 4.4 平均年齢 85.0歳

3. 待機者数 現在 30名

4. 事故報告、ヒヤリハット(7/26 現在)

6月 事故報告 3件

- ・右手手背に2cm大の内出血発見。離床や臥床介助時にぶつけた可能性あり。
→介助の際は手の位置を確認し、前に組んでもらうようにして介助する。
- ・検食が済んでいない状況で配膳車が厨房より出され食事を提供してしまった。
業者の対応に気をとられ確認や伝達が不十分だった。
→検食が済んだかを確認する。時間の確認を行い、通常の配膳時間に提供する。
- ・車椅子からの転落。左頬、両膝等に内出血ができた。浅い姿勢で座り、車椅子を介助し押した際に転落したと思われる。
→車椅子に浅く座っていないか必ず確認する。深く座れるよう介助する。

6月 ヒヤリハット 1件

- ・他入居者からもらったと思われる煎餅を職員に「割って欲しい」と持ってきた。
食事はミキサー食を食べているため、食べられないことを伝えると「硬いものな」と納得されていた。
→見守りと声掛け。職員が提供した物を食べていただく。関係性が崩れないような声掛けや対応をする。

7月 事故報告 4件

- ・ベッド横の車椅子とポータブルトイレの間に挟まった状態を発見する。ふら付いて転倒したと思われる。
→離臥床時の見守り。夜間のみセンサーマット使用していたが、昼夜使用。
- ・夜間、ベッドサイドに設置しているポータブルトイレ前で座り込んでいる所を発見。足に力が入らなくなり座り込んだ様子。

→細目な巡回。センサーマットの使用。ナースコールを押してもらえよう声掛けの継続。

- ・夜間、床に座り込んでいた。ベッド柵のない足元側からずり落ちたと思われる。
→細目な巡回。床にベッドマットを敷いてみる。
- ・袖口に血の付着を発見する。左肘に約1cmの表皮剥離あり。離床時にL字柵の角にぶつかったと思われる。
→L字柵にタオルなどを巻いて保護する。皮膚が弱いので注意しながら介助する。

7月 ヒヤリハット 3件

- ・ベッド横の車椅子をつたいドアの方向へ歩いていた。「トイレに行こうと思って」とのこと。
→夜間はポータブルトイレ使用、移動時は車椅子使用の声掛けと対応。
- ・居室にて車椅子のブレーキをせずタンスに掴まり立っていた。
→車椅子ブレーキをかけ忘れないよう声掛けと確認を行う。
- ・車椅子をまたいでタンスへ向かおうとしていた。タンスのへりが剥がれているのが気になっていたとのこと。
→タンスのへりをテープで止め対応。その後、修理した。

5. 研修

内部研修

6/16 認知症について

7/21 接遇とコミュニケーションについて

外部研修

6/25 介護報酬改定による管理栄養士の新たな働き方（オンライン研修）

7/2 高齢者虐待防止

6. 家族等からの要望・助言

- ・面会について質問がありました。
→現在も面会は全面禁止となっています。全入居者と職員のワクチン接種が終了し、免疫がつくとされている2回目接種後1週間以上の経過を目途に再開したいと考えていますが、県内外等の感染状況を見ながらの判断となります。再開する際はご連絡致します。面会できないことに家族も大変心配のことと思います。電話や手紙など受け付けておりますのでご連絡ください。

7. 今後の予定

- ・8月 納涼会
- ・9月 敬老会

次回は令和3年9月22日を予定

上記内容で運営推進会議進行予定でしたが、青森県内での新型コロナウイルス感染者増加、ささえでの面会制限に伴い書面での報告となりました。